

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38399
事業名	消防救急デジタル無線システムのネットワーク機器更新費					
評価担当課	所属名	消)警防部 消防救助課				
	課長名	大島孝之	担当者名	井口高嶺	電話番号	112152060
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	消防救急デジタル無線システムの各種装置等の更新			
		長期	消防活動に不可欠な無線通信体制の確保			
	取組内容	【目的】 消防救急デジタル無線の安定稼働 【内容】 平成25年(2013年)に整備した消防救急デジタル無線システムの老朽化に伴う各種装置の更新を行うもの。				
	実施結果	令和2年度に車両動態管理連携サーバを更新した。 令和3年度に札幌圏6消防本部で保有している携帯型無線装置バッテリー836個の内、半数となる418個を更新し、令和4年度に残りの418個を更新予定となっている。				
事業実施における工夫点	経年劣化による運用への支障に備え、令和2年度に車両動態連携サーバを更新した。 携帯型無線装置の充電回数からバッテリーの寿命を算出し、更新計画を策定した。更新スケジュールは、無線装置本体1機につき2個セットで保有しているバッテリーを二か年で更新する計画とした。					
対象者	災害等により消防車や救急車を必要とする住民	開始	令和2年度	終了	令和4年度	
関連法令・条例・要綱等	消防組織法、電波法、消防力の整備指針					
他都市の状況	他都市でも定期的に同様の機器更新を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	23,000	17,000	16,691	17,000	
うち特定財源	19,012	7,322	7,322	7,322	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	30,200	24,200	23,891	24,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	携帯型無線装置バッテリー更新(418個) 16,690,740円			
	令和4年度予算	携帯型無線装置バッテリー更新(418個) 16,690,740円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	車両動態管理連携サーバ更新			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	100%				
活動指標2	指標名	消防救急デジタル無線携帯型無線装置バッテリー更新			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		50%	50%	100%	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	更新計画どおり事業を遂行できた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	定期的な機器の更新は当初から見込まれており、デジタル無線共同整備をしている他都市と比較しても、適正な範囲で事業を遂行している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	経年劣化による運用への支障に備え、令和2年度に車両動態連携サーバを更新した。 1年間における携帯型無線装置の充電回数からバッテリーの寿命を算出し、運用から5年を目途に更新計画を策定した。更新スケジュールは、無線装置本体1機につき2個セットで保有しているバッテリーを2か年で更新する計画とした。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	札幌圏6消防本部で機器不具合による運用に支障がないように、計画的に事業を遂行できた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	計画どおり機器を更新した。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ○ 現状維持 ● 休止・廃止 令和4年度で事業が完結するため。			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● その他 なし			見直し効果額